



ノスリ



野鳥観察会



トラツグミ



コケの観察会



ホソミオツネトンボ



クラフト教室



フユイチゴ



機織り体験



ゴマダラチョウ(幼虫)

森の二十四節気

二十四節気とは…一年を二十四に等分し、天候や生きものの様子など、季節の変化を表す名前が付けられています。季節の訪れを知ることができるため、農作業に欠かすことができない暦です。

大寒(1月20日~2月3日頃)

一年で最も寒さの強い時期です。森では、奥池やかがみ池の水面が凍ったり、雪が降り積もることもあります。雪が降った翌日は、雪の上に生きものの足跡を観察することができます。森の中では、ノスリやトラツグミなど冬鳥の姿を観察することもできます。また、エノキの落ち葉の裏では、越冬中のゴマダラチョウの幼虫を見ることができます。

立春(2月4日~2月17日頃)

まだまだ寒い日が続く中、二十四節気では春を迎えます。旧暦では、立春の前後にくる新月の日に新年を迎えます。太陽の光は冬至から少しずつ長くなり、気温は低いものの、生きものたちは着々と春の準備を進めています。イベントでは、園内の畑で育てた綿花を使って糸つむぎと機織りを体験するイベントや、野鳥の観察、みんなでたき火を囲むイベントなどが開催されます。